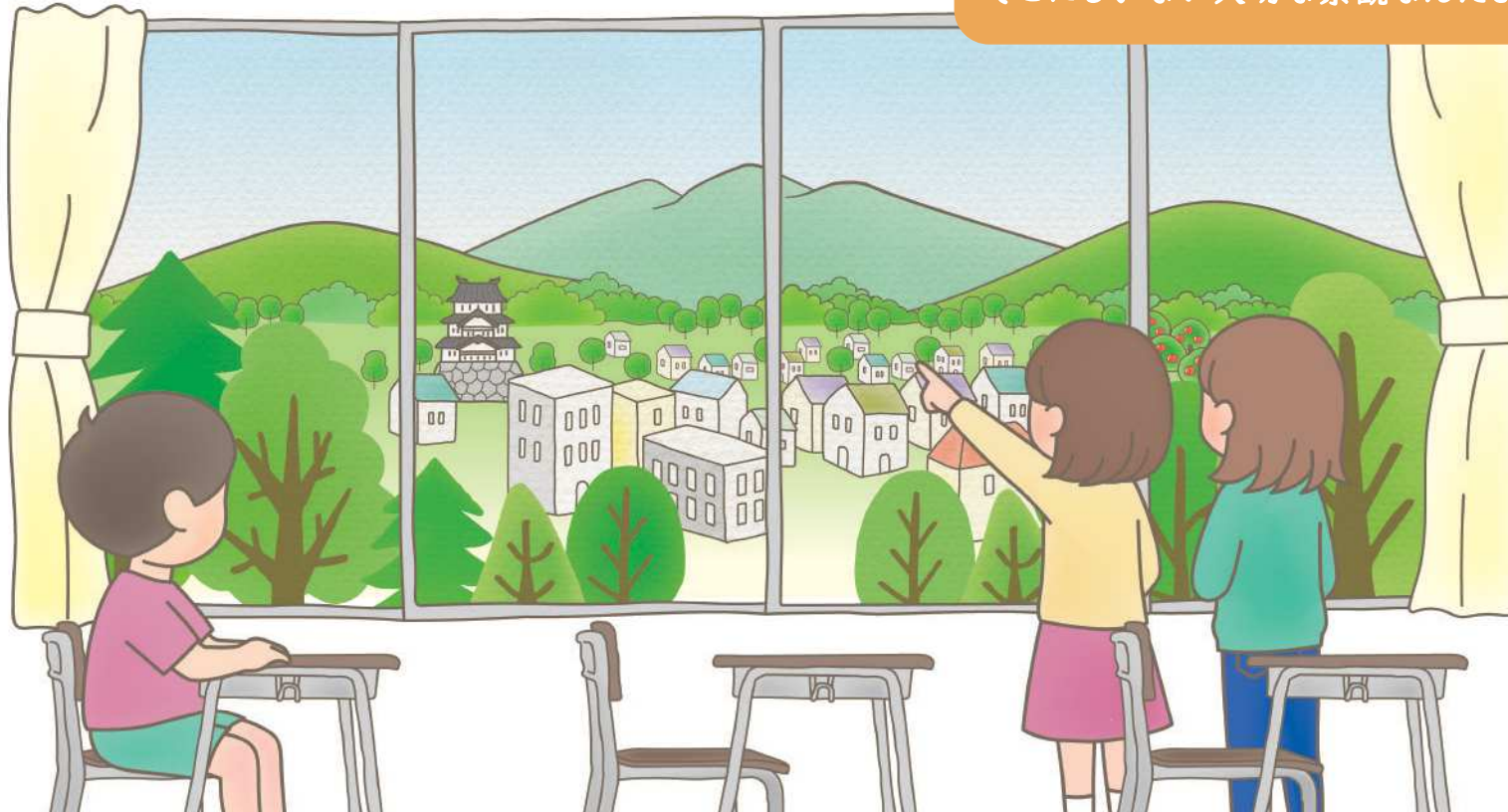


4. 身近な景観を見てみよう

教室から見える景観や
通学路で見る景観も
そこにしかない大切な景観なんだよ！



いつも、みんなが過^すぎしている教室のまどからもさまざまな景観が見えると思います。
校庭のグラウンド、みんなの家やまちなみ、公園や遠くに見える山や空など。飛^ひ行^{こう}機^きや虹^{にじ}が見えることもあるかもしれません。
景観はどこまでも広がり続^ついていて、私たちは景観に囲^{かこ}まれて過^すぎしています。
みんなも学年が上がり教室が変わればまどから見える景観も変わります。
今、教室のまどから見える景観はここにしかない大切な景観です。
⇒次に3人の通学路にある景観を見てみよう！



毎日歩いている通学路を思い出してみよう、
3人はどんな景観が頭にうかんだのかな？

3人それぞれの通学路



いつもお花がきれいにさいて
いていい気持ちになる。
だれが育てているんだろう…？



「ガタンゴトン…」
列車の音が心地よくてなんと
なく安心する…



とりのりっぱ
神社の鳥居が立派で
かっこいい…



ここの公園はいつもだれかが
たのしく遊んでいて自分もわく
わくしてくる…



ここを歩けばいつもパンの
焼いたいいにおいがする…



かわぞかんばんこわ
川沿いの看板が壊れていて
見た目がちょっといや…

3人の頭のなかにうかんできた

わくわくする…

きれい…

心地いい…

安心する…

ちょっといや…

身近な景観はみんなが日々、このように感じ心に^{のこ}残っていきます。

景観はどこまでもつながっていて、歩いていてもさまざま^{へん か}変化していきます。

通学路を歩いていても、3人のように感じることは一つではなくさまざまあると思います。

みんなの通学路にある景観はこれからも心に残る、自分だけの大切な景観です。

みんなも、いつもはあまり気にしなくても、あらためて思い出してみれば、頭の中にうかぶ景観はきっとあるよ。

※スクールバスなどで学校へかよっているみんなは、バスから見える景観を思い出してみよう



まとめ

- ・ いつも歩いている通学路でも、あらためて思い出してみれば心に残っている「**景観**」があったのではないのでしょうか。
- ・ 身近な場所でもそこにしかない大切な「**景観**」です。
- ・ 「**景観**」はどこまでもつながっています。通学路などの身近な場所でもさまざま変化していき、感じる事もさまざまです。
- ・ 電車の音の心地よさ、お店からのにおいでおいしいパンがうかんでくる・・・

「**景観**」は見えるものだけでなく、五感で感じるものでもあります。